

【JCCA 近畿支部】支部長へのインタビュー記事が掲載されました

地位と認知度向上を

建コン協近畿支部

建設コンサルタンツ協会近畿支部（松本正毅支部長）は、大阪市西区の建設交流館で、第48回通常総会を開いた。

冒頭、松本支部長は「建設コンサルタントの地位と認知度の向上を目指す。そのためにも、学生に興味を持ってもらえるような業界、協会にすることが大切だ。」

また、支部では技術の底上げや発注者への要望など、会員にメリットのある活動を展開していきたい」とあいさつした。写真。



議事では、2008年度の事業報告と収支決算報告、09年度の事業計画案と予算案などを審議し、承認した。

09年度は、新たに設置する「維持管理に関する研究委員会」の準備委員会を立ち上げ、施設管理者のニーズを把握、整理し、今後の維持管理に対する研究テーマを抽出する。このほか、支部主催の委員会、研修会、発表会、厚生行事などの一層の発展と充実を図る。

総会後、近畿地方整備局の塚田幸広企画部長が「建設コンサルタ

ントをめぐる諸情勢」をテーマに特別講演した。公共事業をとりまく最近の状況や公共工事の品質確保に向けた同局の取り組みなどを紹介した。

（5・22）